

天文学

と www.tenpla.net
プラネタリウム

今月のお題

vol.
207

☆ 高梨 直紘 (東京大学) / 平松 正顕 (国立天文台)

これまでさまざまな企画を手がけてきた天プラですが、新型コロナウイルス登場以前には、オンラインだけで完結するイベントをやろうとはまったく思いませんでした。オンラインの要素があっても、それはあくまでもおまけ。オンサイトでのイベントがまずあって、それを補完する形で、オンラインで中継もする。そんな程度の扱いでした。人と人とが直接顔を合わせられる、対面のイベントこそ価値がある。そのようになぜだか思い込んできたわけです。

しかし、それは単なる思い込みでした。対面のイベントができない、あるいはしばらく状況が続いて早1年。この間、毎日のようにオンラインで仕事をし、オンラインでの活動に参加することで、もうすっかり順応してしまいました。ひとたび順応してみれば、はて、なぜ以前はオンサイトでないとダメだと思い込んでいたのか、もはや思い出せません。むしろ、自前の施設を持っていない天プラにとっては、物理的な制約に縛られず自由に活動をデザインできるオンラインの方が適しているのではないか。それくらいの感覚になってきたわけです。

そこで、完全オンラインを前提としたトークイベントのシリーズものを企画することにしました。しかも、いきなり二つもです。ひとつは「星空カフェ」、そしてもうひとつは「天プラ茶話会」。なんともひねりのない名前ですが、いずれもお茶を片手に気軽に参加して欲しいという願いを含めてのこと。活動初期の頃によく手がけていた「サイエンスカフェ」の精神にのっとったイベントを、今に復活させたとも言えるでしょう。それぞれ内容をご紹介します。

まず「星空カフェ」から。これは、天プラに縁のある若いプラネタリアンの皆さんをゲストにお迎えしてのトークイベントです。毎月1回のペースで実施しており、30分で季節の星空案内をしていただいた後に60分のフリートークが待っているという、なかなかハードな組み立てです。重視しているのは、ゲストの方の宇宙への眼差しに触れてもらうこと。星空案内や、トークセッションはそのための手段だと言っても良いでしょう。もちろん知識が増えることも歓迎しますが、それはあくまでも結果に過ぎません。それよりも、ゲストの皆さんがそれぞれに大事にしている宇宙への接し方を知り、自身の宇宙との向き合い方を考えてもらうことに意味があると考えています。

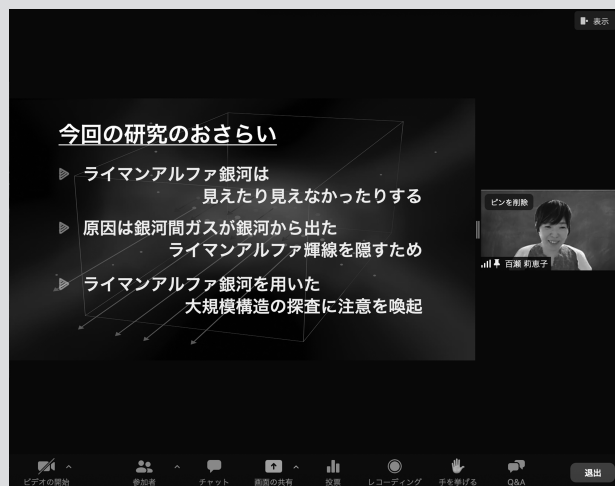
それに対して「天プラ茶話会」は、宇宙に関するさまざまな話題を幅広く取り上げるトークイベント。不定期開催ですが、ほぼ毎月1回のペースで実施しています。60分という枠で実施していますが、なにせゆるい会ですので、興が乗れば延長も自由自在。著者による新著の紹介、日本天文学会の記者発表の解説、星空案内人の方に根掘り葉掘りなんでも聞く会、プレスリリースの内容紹介等々、硬軟織り交

お茶を片手に宇宙を楽しもう？

遅ればせながら、天プラでも完全オンラインのトークイベントを企画しました。名付けて「星空カフェ」と「天プラ茶話会」。この微妙なネーミングのイベントについて、ご紹介します。



「星空カフェ」の様子。それぞれに味わい深い星空解説も売りのひとつです！



「天プラ茶話会」の様子。ハードな話題もどんどん飛び出します。

ぜつつやっているのが特徴です。天プラという看板を信頼して下さる皆さんに、ふだんはあまり接することが少ない話題にも気軽に触れられる機会を提供し、それにどんな楽しみがあるかを見つけて欲しいと思ってやっています。

これらのイベントは、いずれもオンライン会議システムのZoomを使って実施しています。星空カフェは参加者の質問を司会が代読し、ゲストに聞いていく方式。これは昔ながらのラジオのスタイルを意識しています。それに対して、天プラ茶話会は参加者が自ら発言し、ゲストと直接やりとりしていく方式。誰でもゲストと1対1であるかのようにしゃべれるオンライン会議システムの特徴を活かして、旧来のオンサイトのイベントでは実現できなかった距離感を演出しています。まだまだ発展途上のイベントたちですが、今だからこそこの荒削りの魅力があるとも言えます。皆さんの参加をお待ちしています！